

花まるたより

2025
101

Hanamaru
Monthly
Newsletter





2025年1月

スマホの与え方

年の終わりに朗報が届きました。リセマムが2011年から毎年行なっている、教育サービスの顧客満足度調査であるイードアワードにて、花まる学習会は小学生学習塾部門の総合評価で最優秀賞を獲得しました。部門賞に浜学園や日能研、SAPIX、早稲田アカデミー、市進学院など、全国規模の有名塾も並ぶなかでの「保護者評価の全国総合最優秀賞（日本一）」、とても嬉しかったです。

野外体験の教育効果や非認知能力・思考力に30年以上前からいち早く注目し、楽しく頭をフル回転させ続ける授業や、自然の豊かさを五感で感じ人間力を育てるサマースクールを開催してきました。日々の実践とともに汗をかきスクラムを組んできた各教室長、講師、スタッフたちを誇りに思いますし、ここまでお子さまをあずけてくださった保護者のみなさまへの感謝の気持ちが湧き起ります。これからも精進怠りなく、一人ひとりの子どもたちに最高の知的経験、心をたくましく豊かにする経験を提供し、感性や好奇心を育てるよう努力してまいります。本年も、どうぞよろしくお願いたします。

さて今回は、昨年一年間を過ごし、この国の教育について最も深刻だと感じた課題について書きます。それは、子どもの「スマホ漬け」問題です。

何事にもメリットとデメリットがあり、問題視しない人たちも大勢います。今後スマホがない世界は考えられない、デジタルネイティブの新时代なのだ、という意見には一理ありそうです。ですが教育の現場に居続ける者としては、「多くの子どもたちが将来自立できないという可能性」すら感じており、この危機感を明確に伝えておきたいと思っています。

たとえば友達も多くサッカーや水泳など打ち込む何かを持ち外遊びも存分にやっている子が、多少スマホをいじろうと問題はないでしょう。しかし、それを許したがゆえに同級生のなかに「スマホ中毒」になり健全な社会性を喪失してしまう子が大勢出現するかもしれないと予測します。

イシューは何か？ それは「とても便利で今後必要なデバイスだからと言って、成長段階の子どもにも無条件に与えてよいのか、の妥当性」です。わかりやすく言うと、たとえば酒は多くの人は飲むようになるし百薬の長という言い方すらある。では子どもに飲ませるかと言ったら世界的にNOである、となぞらえることができるでしょう。同じように、性的な場面が出る映画も、大人になったら問題はないが、子どもに観せるかというと、世界中で「〇〇才以上（〇〇才未満は観賞を禁止する）」という制約を個々の作品にかけてい

ます。

実際に、教育現場ではこの問題を指摘する声をたくさん聞きます。あるリースクールに、友達もいない人間関係に大きな不安を抱えた6年生男子が入会した。首から下げたスマホのゲームに完全に中毒状態で、みんなでやる企画の最中も一人画面から目と手を離せないありさま。そこで保護者とお話しして、スマホを取り上げてみた。するとかなり短い期間に、表情の明るさと目の輝きを取り戻したというのです。本人曰く「心は『これじゃいけない』と感じているけれど、脳が止められない感じだった』そうです。このケースは少なくとも我らの「花まるエレメンタリースクール」でも、ほぼ同様の5年生男子がいたけれど、スマホを使えないようにしたら、「いまを生き活きと楽しめるようになったんですよ（林単人校長談）」ということがありました。

さて、では「それは絶対ですか」と聞かれれば、地球上の誰にも真実はわかりません。0歳から画面をスクロールしていた子たちが出現して数年。一ツ示唆する現象として、この三年間の小中学校の不登校児童生徒数の急増（毎年5万人ずつ増加し、とうとう35万人に）という事実があります。「乳幼児期からのスマホ自由使用が大人になってどのよう

高濱の本棚

『中学受験 親子で勝ちとる最高の合格』

中曽根 陽子 著
(青春出版社)

中学受験の心構えの参考本はあまた出ていて、どれもそれなりに学びはあるだろうが、本書は詳細な情報も入っているし、何よりバランスの取れた一冊である。親や指導者としての経験を根拠の一つの「流派」としか呼べないアドバイスを示す本が多いなかで、この著者は「軸＝わが子に受験をさせる哲学」をきちんと構築することが大事と説いていて、これは真実だと思った。



『発達障害・グレーゾーンの子どものためのしくのびる！ おうちのおやくそくカード』



- このカードでできること
- 絵と短文で瞬時に内容を理解できる
 - 家庭のルールが身につく
 - 生活リズムがつく
 - あいさつができるようになる
 - 防犯対策が学べる

『発達障害・グレーゾーンの子どものためのしくのびる！ がっこうのおやくそくカード』



- このカードでできること
- 絵と短文で瞬時に内容を理解できる
 - 学校のルールが身につく
 - 集団生活のルールがわかる
 - 授業中の困りごとがなくなる
 - 友達づきあいのコツがわかる

少なくとも十数年先です。

また、反論として、「いくら人間関係に問題が生じようとも、ゲームをやり込んで達人レベルまで行けば、eスポーツで億単位の稼ぎを得ることもできる」という意見もあります。これについては、たとえばプロ野球選手という職業を見れば参考になります。半世紀以上も前、「ボールを投げて打って、などという遊びでメシなんか食えるか」と言われた時代もあるけれど、プロ野球選手が高収入を得られる職業として定着すると、「大学に進んで安定した企業に就職する」という大半の親たちの育成観とまったく異なる「プロ野球選手を目指す」という方針を決めて育て、実際に傑出したアスリートに成長したというような（たとえばイチロー氏のような）人物も出現しました。ある時代には非常識に思われたけれど次の時代には地位を得て新しい常識として定着したということは、歴史的に何度も起こった文化変容の形態でもあります。

誰にもこうだと言いつける根拠は存在しないけれど、次々と新産業革命として大きな変化が起こり続けるいま、保護者は正解はわからなくても、わが子のスマホとの付き合い方のルールをとにもかくにも「決断」していかねばなりません。

では結局お前はどうかだと問われれば、どんな世界になろうともたいいていの職場で「相手の気持ちを想像する力」は重要視されると考える人間力重視派の教育者としては、「スマホは基本禁止。ただし時代の先を見越して、一定時間（一日2時間以内など）だけ

親の承諾した健全で知的刺激にあふれたサイトでのパズルや動画視聴などについて『触ってよい時間を設定する』というのが、妥協点かなと感じます。最低でも無条件にやり放題ということは絶対に避けてほしいと強く思います。また少なくとも日本小児科医会は公式に「スマホに子守りをさせないで」と表明しているし、さまざまな脳や心理の専門の大学の先生方もさまざまな書物などで危険を警告（たとえば医学博士である東北大学の川島隆太先生は著書『スマホ依存が脳を傷つける』デジタルドラッグの罠』のなかで「スマホ利用頻度の高い子どもは、大脳の三分の一の領域で発達が止まっていた」とまで書いています）している。また先般オーストラリアでは16歳以下はSNS禁止と決められ、アメリカでも州によっては同様であるという事実は、参考にしていただきたいです。

ここまで読んでまだまだ深刻に受け止め切れないという方の説得のためにお伝えしておきたい事例があります。それは「朝定刻に起床できない。たまに寝坊する」というしつめの失敗が、大人になってからの長期引きこもりと深く関連しているということです。起床のしつめに失敗した家庭では、わが子の深刻な引きこもりが始まったあとに、必ずといっていいほど朝晩逆転など起床の問題に直面します。専門で40年の実績のある杉浦孝宣さんは、『朝起きる』という一点さえクリアして来てくれれば、9割以上は社会復帰させてみせるのに、親がそれをやらせきれないんだ

とおっしゃいます。私も引きこもり対応を長く続けたので、その通りだと知っています。なぜ、聞かせきれないのか。朝定刻に起きる」といのは幼少期時代のしつけ項目だからです。

そして、この現実を知る専門家が口を酸っぱくして「早起きが大事」と伝えても、多くの子育て中の親御さんにはピンとこない。「そんなに深刻なことですかね」とすら感じてしまっ。

今回の「スマホ子育て」が将来もたらすであろう問題の深刻さの伝わらなさを加減と、とてもよく似ています。思春期の深刻な問題になってからでは遅いのです。

今回はやや固い内容になってしまいました。が、世界を見渡すと、まだまだこの国の治安は平均して良いし、爆弾も飛んでこない平和を日本は維持しています。先達のみならず一生懸命構築し続けてくれたこの平和なままに感謝しつつ、私たちも変わらず子どもたちの健やかな成長のために邁進してまいります。2025年が、子どもたちにとって、経験に満ちて幸せな一年になりますように。

花まる学習会 高濱正伸

新刊情報

発達障害・グレーゾーンの子どものためのしゅのひる！カードシリーズ

子育て応援隊むぎぐみ 発達・療育支援部門 Flos / 高濱正伸 監修 (永岡書店)

このカードのいいところ

- 使うほど自己イメージが上がる
- 楽しみながら学習できる
- 専門家のアドバイスが満載！
- 必要なカードを持ち歩ける
- 場所ごとに必要なカードを置ける

発達の偏りのある子たちに向けた学習支援を主な目的とするフロス（Flos）、不登校なども含めた子育て全般の相談を受け付けるサリ（Sali）、という2つの専門組織による相談・指導のなかで培われたノウハウが凝縮された絵カードです。学校や集団生活のルール、友達つきあいのコツなどを、楽しみながら学習できます。

『発達障害・グレーゾーンの子どものためのしゅのひる！きもちのことばカード』



このカードでできること

- 絵と短文で瞬時に内容を理解できる
- 自分の気持ちを話せるようになる
- 人の話を聞けるようになる
- 会話や感情の言語化がスムーズになる
- コミュニケーション力が身につく

花まるだより 2025年1月号

(令和7年1月15日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう
花まる学習会
発行人 高濱正伸
企画・編集 久慈 菜津紀・生井 ちま
編集 金井彩・清田 奈雨
坂田翔・高橋 奈穂・平山 真康
デザイン 春日 梨沙・西野 奈布子
印刷 アークランド株式会社

高濱が、花まるの教室長をちょっとおちゃめに紹介するこのコーナー！「タカタコ」は、高濱による他己紹介で教室長を深掘りします。2024年度のテーマは、「私の母」。各教室長が実際に自分のお母さんや家族に改めてインタビューした内容を、高濱がまとめました。



高濱 正伸 卒業記念講演会

卒業するキミへ ～ 中学時代の過ごし方～

小学6年生
限定

中学生になるみなさんへ

小学校を卒業する前に、みなさんに伝えておきたいことがあります。
勉強への姿勢だけでなく、社会で生き抜くために必要な力や、自分を磨く方法、
恋愛の極意……。
「外の師匠」の一人として、これだけは伝えたい“社会で生きる大人の本音”です。
将来、自立して自分の足で歩める大人になるために必要なことを、花まる学習会
に通ったみなさんにだからこそ伝えます。一度きりの卒業記念講演会です。当日、
みなさんに会えることを楽しみにしています。

花まる学習会代表 高濱 正伸



2025年 3月9日(日) 10:00~11:30

会場 滝野川会館 大ホール

東京都北区西ヶ原 1-23-3

(JR京浜東北線 上中里駅東口下車 徒歩7分、

JR山手線 駒込駅北口下車 徒歩10分、

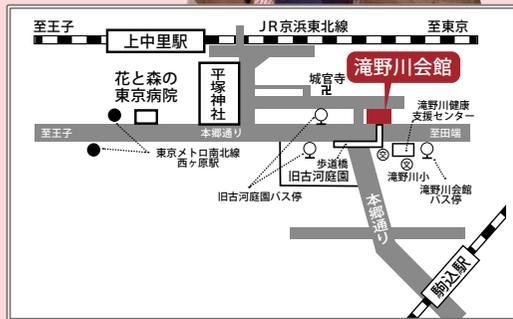
東京メトロ地下鉄南北線 西ヶ原駅下車 徒歩7分)

【対象】小学6年生

花まるグループに2025年3月時点で在籍している方が対象です。

スクールFCなど1月で卒業となる部門は、2025年1月末(最終授業月)まで
在籍していた方が対象となります。

※ほかの学年の方や保護者の方はご参加いただけません。ご了承ください。



卒業講演会の動画公開について

- ・当日、会場からのライブ配信はございません。
- ・遠方在住の方、当日来られない方に向けて、別日収録の講演内容をYouTubeで限定公開いたします。
「動画視聴希望」でお申し込みください。視聴URLをメールでお知らせいたします。
【限定公開期間：2025年3月9日(日)～31日(月)】



お申し込み

講演会参加 動画視聴希望

https://www.hanamarugroup.jp/usersystem/login_form.php?m=p&key=6381

※ 2025年2月14日(金) 19:00 〆

【お問い合わせ】 kouenkai@hanamarugroup.jp (担当：かない)



お申し込みは
こちら

卒業しても、
つながりは
ずっと!

花まる卒業生の活躍

みなさんが中学校を卒業する頃、ご自宅に卒業生イベントの招待状をお届けします。
卒業生だからこそ参加できるイベントやリーダーのお仕事もあるので楽しみにしてください。

高校生 リーダー

高校生になったら
応募は3月から



卒業生 イベント

なつかしいあの先生との
再会も!?



子どもたちと全力で遊び、
駆け抜ける夏!
毎年、たくさんの花まる卒業生
が活躍しています。
子どもたちが伸びる瞬間を目
撃しながら、あの頃を思い出
して、子どもたちの心に寄り
添ってあげてください。

花まる 講師

花まるっ子として腕の見せ
どころ!
学ぶ楽しさを存分に感じな
がら前に進むサポートをし
ます。子どもたちのやる気
を引き出し、子どもたちの
成長を一番近くで見守るお
仕事です。



野外 リーダー

大学生以上の
応募は3月から



卒業生 物語



社会で活躍する花まるっ子たちに、
花まるの先生たちがインタビュー!
それぞれの夢やそこに向けた努力、
いま感じている壁やその向こうに思
い描いている目標など、たっぷり語っ
てもらいました!



母は長崎育ちで、4人きょうだいの3番目、1番上の姉ばかりが祖父から溺愛されていて自身は引け目を感じていたのですが、大学で一人暮らしをして解放を感じたそうです。そこで父と結婚、しかし姉が未熟児、私がアトピー、弟が持病、父は仕事でケガの多い人、家族の誰かがいつも病院に通っていて経済的に苦しったのですが、3きょうだいが一斉に巣立ったとき、全員にまたまとったお金を渡してくれました。【中里明理・たいよう



こんげっ
今月のレインボータイム

【4ばんめは？】

ぼう かたち
マッチ棒でいろいろな形をつくりました。

やじるし へんか
矢印のように変化していくとき、

ばんめ かたち ひつよう ぼう かず なんぼん
4番目の形をつくるときに必要なマッチ棒の数は何本でしょうか。

みずぐち れい はな がくしゅうかい
出題：水口 玲 (花まる学習会)
(しえふ)



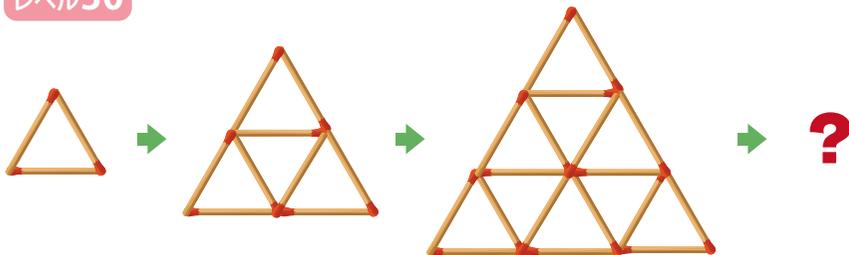
かいとう
解答はこちら！

レベル10



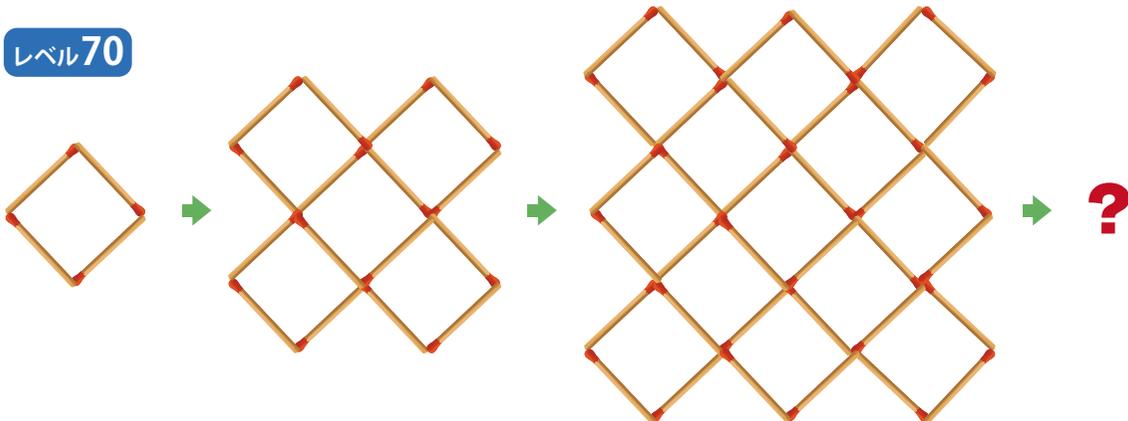
A. _____ 本

レベル30



A. _____ 本

レベル70



A. _____ 本

たかはまませのぶ
高濱正伸 講演会

父親だから できること

男性限定



5/11 日
10:00~11:30

“父親らしく”
って…?



開催日時 2025年5月11日(日) 10:00~11:30
会場 赤羽会館 講堂
参加費 1名 2,000円(税込)

定員 512名(先着順)

お申し込みはこちら ▶▶▶



2024 アルゴ名人戦・王位戦 アルゴ杯・マスタース選手権

主催：国際アルゴ数理教育連盟 後援：算数オリンピック委員会

アルゴ全国大会とは？ 日本各地のアルゴクラブ加盟校から選出された代表選手67名によるアルゴ全国大会

あそびとしか思えない空間で
論理的思考力を鍛える



2024年12月8日(日)、アルゴ全国大会が開催されました。

花まる学習会アルゴクラブからは16名が代表として参加し、4年生以上の部にて、[優勝]・[ペア王]・[アルゴマスタース]に輝きました！

また、個人戦の成績としては3年生以下の部にて準優勝、第3位2名、

4年生以上の部にて第3位2名と、多数受賞しました！ 出場した全選手が全力を尽くしました。

全国大会の舞台上で感じた悔しさや喜びを糧に、これからも教室の仲間とともに切磋琢磨していきます。



2024・2025年度生
年長・小学1～6年生

※開講学年は教室により異なります

体験申込 受付中!

アルゴクラブ HP <https://www.hanamarugroup.jp/algo/> ▶▶▶



東京

お茶の水 **火** **土**
早稲田 **水**
代々木 **木**

神奈川

あざみ野 **土**
辻堂 **木**

千葉

本八幡 **土**
流山おおたかの森 **火**

埼玉

南浦和 **土**

茨城

万博記念公園 **火**

NEW!

全国 オンライン **火** **水** **木** **土**

母は5人きょうだいの3番目。ただ自分と下の2人と年齢差が10歳以上あって、「一度子育てしたようなもの」というくらい世話をしたそうです。私を産んだあとも私に対して叔父の名を呼ぶことがありました。親としても干渉しない子を見る人だったのですが、先日私の妻が「どんな子だったのですか」と聞いたときには即答で「全然手がからない子だったわね」と答えていました。 | 山崎隆・オータム

無人島

職人の



「花まる子ども冒険島」開拓のため、カトパンに続いて広島に引っ越した職人。港がある安芸津町に新たな拠点もでき、ますます力が入ります。そんな2人の日々を、現地からレポートします。

酒の話を聴け

「無人島」という言葉に惹きつけられるのは、子どもだけではない。私の記憶に強く残っている、ある大人のエピソードを紹介したい。その人（Tさん）は、高濱さんの友人の一人として無人島に来た。高濱さんの友達はどなたもその業界の第一線で活躍されている方ばかりだが、Tさんもそうだった。物腰は柔らかく、知識は深く、話はおもしろい。大の大人でありながら少年のような好奇心を持ち合わせていて、とにかく「ごきげんな人」だった。「一行が無人島で一泊して帰ったその数日後、広島に荷物が届いた。Tさんからである。無人島の旅をアテンドした我々に、お礼として贈ってくれた品だった。エピソードというのは、この贈り物についてのことである。

「あの人に何を贈るか」。これはとても大きなテーマだ。テストの点がよくて、お金をたくさん持っていて、いいプレゼントができるとは限らない。相手が喜ぶものを贈れるかどうかは、優しさや勇気と同様、数値化できない心のなせる業なのだ。だから、贈り物にはその人の心が表れる。

Tさんが送ってくれたのは、一本のウイスキーと一冊の文庫本だった。ラフロイグ。そして村上春樹のエッセイ、『もし僕らのことはがウイスキーであったなら』。それが3つずつ。高濱さん、カトパン、私のぶんである。Tさんの添え書きによると、村上春樹が「もし無人島にお酒を持っていくならこの一本」というのが、ラフロイグなのだそう。うーん……わがね。これは、こちらとしても腰を据えて受け取る準備をせねばならない。

数日かけて文庫を読み、普段飲まないお酒についても調べ、「ふむふむ」となった私はある晚いよいよラフロイグの栓を抜いた。とたんに、48度の蒸気流に乗って香りが舞い上がり、あたりがビートのペールに包まれる。ボトルを傾けると、暗闇のなかでゆるく灯ったランプのような色をした液体が、トクトクトク、と期待を押し上げるように高まる音とともに流れ出し、そのままグラスへと滑り落ちていった。香りと色と音。お次はどういっただい？ お味だよ！

ストレートで口に含むと、舌全体が静かな怒りを湛えたようにビリビリとした。刺激で味がとらえられない。素人には度数が高すぎるのだろう。そのまま飲むというより沁み込むようにウイスキーが喉に送られたあと、立ち昇った香りが鼻腔から抜けた瞬間、信じられないことが起きた。風景が見えた。おそらくこの酒が生まれた場所。イギリスに行ったこともないし、気取っているのかもしれないし、すでに酔っているのかもしれない。でも嘘ではない。曇り空で、風が吹いていた。

そのお酒がどのくらいおいしかったかという、カトパンが高濱さんのボトルを飲んでしまったくらいおいしかった。ラフロイグはお酒ではなく「体験」だった。Tさ

んがこれを一連の物語として贈ってくれなければ、もしたまたま街のバーで飲んでいたら、おそらく私には普通のお酒になっていただろう。こんな贈り物があるのか、こんな贈り方ができるのか、と思った。

ただ、文庫のどこを読んでも、ネットでもいくら検索しても、「村上春樹が無人島に持つていくならラフロイグ」という話はどうとう見つけることができなかったことを最後に言い添えておかなければならない。また、それによってこのプレゼントの価値が私にとって少しも陰らなかつたということも、Tさんの記憶違いなのかもしれないし、私に見つけられないだけなのかもしれない。完璧な記憶などといったものは存在しない。完璧な絶望が存在しないようにねーみたいな。

(おわり)

花まる学習会 橋本一馬



「見える」酒、ラフロイグ。飛ぶぞ。

無人島企画や最近の様子を配信中！ぜひ登録してね！

花まる子ども冒険島公式LINE

カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



職人 橋本 一馬

花まる学習会神奈川東北ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から「職人」のミドルネームを持つ。家具製作技能士、狩猟免許、プッシュクラフトアドバイザーなど、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メンが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。広島で2年間無人島開拓に携わったのち、現在は神奈川でキャンプ教室を企画中。



これまでの開拓記はこちら！



ことほくん (東京都)

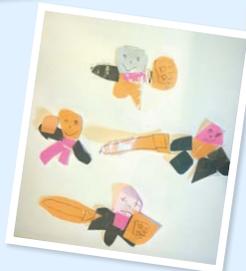
🏠 保育園の自由時間の際、折り紙を切ってセロハンテープでくっけておもちゃの野球盤を製作したそうです。グローブやバットを持っている人、デッドボール？で痛がっている人も表現しています。折り紙を切って人の体を表現する方法は家で教えたことも保育園で教わったこともないので、自分で考えたことに驚き、先生に送ることにしました。



Rinせんせいよい

これはおもしろい！
野球盤を自分でつくってしまった、ことほくんの作品です。おそらくたった4色の折り紙だけで、切って貼って制作したことがわかります。

年長コースでは、教具をハサミとセロテープで自作してくる、という宿題を課することがとても多いのですが、それは、「自分の手でつくってしまえるんだ」「そのプロセス自体がおもしろいぞ」という感覚を知っていれば、何かを生み出したいときに「自分でつくってみよう」と思える姿勢、さらには作製者の視点を身につけることができるから。
ことほくんはすでにその感覚を持っているのだなあと感じました。デッドボールで感情を表現しているところも、彼のユーモアセンスが表れていて、いいですね！



「あなたはどうしたい？」
自分のことと向き合ってきた子どもたちの作品に、Rin先生が鑑賞のこぼをそえます。



🏠 夏休みの宿題にあった「わたしはだれでしょう」。彼の好きな虫や動物の問題で目をキラキラさせながら解いていました。最後のページに「じぶんでもんだいをつくってみよう」とあり、先生やお友達に問題を出すんだ♪とやる気スイッチが入りました。毎日幼稚園から帰ると、百科事典や本を調べて問題を考えます。

彼のこだわりは問題のつくりかた。最初のヒントでは答えがわからないように。そして最後まで読むと答えがひらめけるようにする。「調べたときに知った動物の特徴や習性もみんなに知ってもらうんだ！」と真ん中に雑学として加える。

絵にもこだわり、辞典や本、インターネットで調べながら、ここにこんな特徴があるねと描き進めていきます。できあがった問題を誇らしげに父や兄に見せる彼の顔が大好きです。



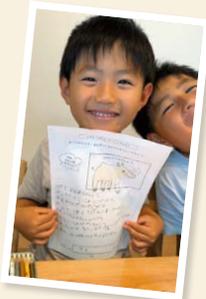
Rinせんせいよい

図鑑好き、生き物好きな子どもたちが必ずと言っていいほどハマる「わたしは誰でしょう」。たくさんつくりましたね！

クイズとして良問を目指して成立させようとするとき、そこには問題作成者側の視点が必要になってきます。情報を小出しにしたい、雑学も提供したい、最後には答えがわかるような構成に……と考えるゆきとくんは、回答者の立場を緻密に想像していることがわかります。

個人的には、「童話のなかで助けてくれたおじいさんに恩返しをします」の一文にグッときました。図鑑やネットからの情報だけではなく、彼のなかにある知識の引き出しを使ったんだな！とうなりました。

誇らしげな作者の横で、一緒に喜ぶお兄ちゃんの表情もまた、すてきですね。



ゆきとくん (東京都)

今月のARTレシビ

毛糸 ART③ 毛糸で指あみ Finger Knitting!
【Rinせんせいがつくってみたよ】



最近編み物を始めました。正確には小学生の頃にクラスで流行っていたので、それ以来の再開ですが、寒い時期に温かみのあるものを触っているだけでも癒されます。

さて、今回は五感からの刺激を受けながら、色で遊ぶように創作できるアイテム、毛糸を使った創作レシビです。

使うのは毛糸と自分の指だけ、というシンプルなテクニックながら、いったん身につけてしまうと、子どもたちは夢中になって編み進めていきます。どの長さで終わりにするのかによって、首飾りにも、部屋の飾りにも、ワッペンにもなってしまおう。

何よりも、編み物に通じる、繰り返すことでできあがっていく手仕事のおもしろさ、達成感とマインドフルネスな感覚は、大人も夢中になってしまいます。ぜひ親子で楽しんでみてくださいね。

<https://youtu.be/J9acofwUQBE>

みんなの
うちART作品を
待っています！

- ・レシビ部門
- ・じゆう部門

Rinせんせいにおくってみよう！



つくり方を
動画で
見てみよう

じゅんびするもの

- ・自分の手
- ・毛糸
- ・ハサミ

こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

64

創作にこめる 小さな哲学

小学校への出張授業、その日のテーマは「旅をするベトポトル」。リサイクルアートやメールアート（郵便の仕組み）についても話し合い、子どもたちは意気揚々と創作に取り組みはじめました。彼らが制作に没頭している最中、校長先生が大きな袋を持って教室に入ってきました。そのなかには、校長先生が用意してくださったさまざまな素材が詰まっています。

素材の特徴をどう発見していくのか、子どもたちの観察力と想像力を最大限に引き出す「素材と出会う時間」はもう過ぎていたので一瞬躊躇したのですが、私はお礼を言いつつ袋のなかを確認し、そのなかから選んだものだけを取り出して、子どもたちにさっと紹介しました。

彼らにはもう自分なりのアイデアを膨らます力があると信じていたからです。

授業後、ある女の子が担任の先生とこんな会話をしました。

「どうしてRinせんせいは、全部の素材を見せなかったんだろう？」と尋ねる彼女に、

「どうしてだと思っ？」と先生が問い返すと、彼女は少し考えて答えたそうです。

「アトリエは、自分でつくるからじゃない。それ（紹介しなかった素材）は、もともとつくられているから。ほかの人がつくったものだから」「自分なりにつくったら、もっといいものができると思う」

実はそのとき、私は袋のなかからキラキラしたツリーの飾り付け用の素材だけを選びました。具体的なデザインやイメージのあるクリスマスの装飾品は取り出さなかったのです。

この「素材を選ぶ」という判断に込めた意図を、1年生の彼女はすでに、自然と理解していたのだと感じました。

創作の場で大切にしているのは「自由」です。それは自己対話や自己決定を繰り返しながら、自分の興味関心に基づいて新しいものを生み出していくプロセスです。

この体験を知っていると、自分で「自分なり」につくることのおもしろさ、工夫のしかい、試行錯誤の先にある達成感を、無視できなくなりそうです。

花まるの年長コースで、教材を「自分の手でつくってくる宿題が多く出るのは、そのプロセスを体験するためです。

「自分でつくったほうがもっといいものができると思う」。彼女のその言葉は、人生そのものを表しているなと思いました。

同じ日、別の男の子が作品をつくっている姿を後ろから興味深く見ていると、彼がちらりと振り返ってこう言いました。

「Rinせんせいは、僕のファンなの？」冗談でも茶化すのでもなく「そうなんだね？」と確認するかのようなその言葉に、近くにいる大人は思わず笑いをこらえています。

私は小さな声で「そうだよ」と答えました。なるほど、彼の「作品」を「いいね」と心から肯定する私のまなざしが、「彼自身」への「大好きだよ」というメッセージとして伝わっているのです。

子どもたちは、大人と同じように考え、葛藤し、達成感に喜びを感じて生きています。彼らとともに感動しながら、2025年も、ありのままの良さを認め合う教育について考えていきたいと思っています。

Rin（井岡 由実）



このお話は
アトリエラジオ#197でも
詳しく語っています。



Atelier for KIDs オンラインアートプロジェクト



2月は、年に1度のAtelier for KIDs × Rinせんせいの大きな作品展示を行います。
過去にAtelier for KIDsに参加したことのある子どもたちと
そのご家族に、詳細をご案内しています。

光の
ART制作



これまでのオンラインアートプロジェクトの様子はこちら▲

ART-reduction

Rin's studio 井岡由実の atelier
INSTA LIVE
@hanamarugroup × @rinokarinab
2025 2/14 Fri.
12:40-13:00

Rin（井岡 由実）

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会年中・年長向け教材開発に携わり、冊子『1年生になる前に』では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子育て』（実務教育出版）ほか。

RinせんせいのSNSなど
すべてのリンクは
こちらから▶





花まる教室長がお届けする
子育て奮闘記

花まるリビング

42

勝谷里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小4・小2・3歳児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか



親も、自分の心を見つめる年始

新しい年の始まり。その初回のコラムの題材としてどうかと思っただけですが……、最近の「子育て」のことを考えたときに私の頭によく浮かぶのは、「もう、子育てよくわからん」という言葉です。

たとえば、読み聞かせ。小4の長女や小2の長男が小さいときは、眠る前に本を読んであげていました。私も親に読んでもらって、自分にとっては楽しく好きな時間でした。ところが、3歳になった次女への読み聞かせはなかなか手強い。

まず、順番が待てない。長男も、まだ時々「読んで」と絵本を持ってくるので読んでいたのですが、次女はそれを待っていられず、「次も自分、いつでも自分」とぐいぐい押しのけてくる。

次に、本を読みはじめても話の本筋ではないところが気になって、なかなか話が進まない（絵に描かれている細かい別のものに注意がいき、すぐに口をはさんでくる）。

最終的には、自分で本を声に出して読みたがる。まだ字は読めないのに、聞いた言葉や想像の言葉ををつらつらつなげて話していく。意味不明ですが、とりあえずうんうんとうなずいていたら、「わかった？」や「聞いてた？」など、確認の言葉がとんできます。読み聞かせに正解があるわけではないので、どんな形でもその子自身が躍動して楽しめていればよいとは思いますが、それにしても……本当に手強い。

夜の読み聞かせは、だんだんと「静」の空気を出して寝かしつけにもついでに、次女が自分で声を出しているという「動」の状態に入っていく、そこからもうひと暴れ。（早く寝てー、と思つ気持ちは否めません。）

上の二人のときはたまたま二人とも「静」の読み聞かせに向いていただけだったんだなあ、と何年か越しにあの頃の小さかった二人への感謝の念も湧いてきました。

高濱が「母親だからできること」の講演会などで

話す例の一つに「母親は、男の子をカブトムシや宇宙人と思って観察する」というものがあります。それだけ自分と子どもとはちがう生き物なのだという提示なのですが、まさにそれです。

子どもが一人から二人に増え、三人になって少しは経験値が上がった部分もありますが、一人ずつ別々の星に住んでいる宇宙人だよなあ、というのが実感。経験値にそってこちらがよかれと思つて行動したところでもまったく思わぬ反応が返ってくるので、「もう、子育てよくわからん」となるのでしょう。

また、三人の子育てをしていると「すごいですが、大変ですね」と氣遣う声をかけていただくこともあり、ありがたいのですが、かといって一人よりも二人よりも大変と比べるものではないんだらうなあ、とも思います。

たとえば適切かはわかりませんが、私個人の感覚としては、パーキンソンの法則（仕事は、与えられた時間をすべて満たすまで膨張する、というもの）と子育ての悩みは似ていて、親は自分に与えられている時間分、子育ての悩みを抱えてしまいがちな気がするのです。なので、まわりの誰かと比較して「大変」「大変じゃない」などではなく、「いま自分自身が大変と思つているならば大変」というその事実がすべて。

まわりくどくなつてしまつたのですが、何を言いたかったかという、私自身は自分の「もう、子育てよくわからん」という言葉が、いい意味でふっきれた明るい気持ちから来ているのか（わからない）、から楽しもう！、もしくは疲れて投げやりになつているのかを分析すべき。

もし後者ならば、自分が「大変」と思っている気持ちを最優先で尊重して、休む／自分の好きなことに没頭する時間をとるなど、自分のご機嫌カードを切るタイミングなので、躊躇なく切る！（ご機嫌カード

ド…親が持つておくといよい、親自身をご機嫌にするための手段、として高濱が提唱しています）

そんなことを考えた年始でした。楽しくも慌たしい年末年始を終えて、一区切りのこの時期。子育て中のみなさん、ぜひ自分の心のための時間も大切にお過ごしください。



新年、お金の話

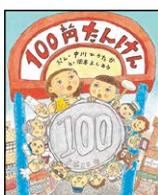
花まる学習会 勝谷里美



『子どもお金ルール お金の仕組みを学び、お金の哲学（マイルール）をつくる本』

高濱 正伸 著
伊井 哲朗 監修
(カンゼン)

お金の付き合い方を知ることが、「メシが食える大人」への第一歩。お金の価値観を磨くことで、生きていく力が自然と身につきます。「教育の専門家」と「お金の専門家」の2つの視点から、子どもたちにお金との付き合い方を教え、子どもたち自身に「お金の哲学（マイルール）」をつくらせてもらうことを目的とした画期的な一冊。子どもが自分で読んでも、親子と一緒に読んでも、どちらでも楽しめるので、お年玉を手にしたこのタイミングで、親子でお金について話してみませんか？



『100円たんけん』
中川 ひろたか 文
岡本 よしろう 絵
(くもん出版)

お金に興味を持ちだしたら、ぜひ！ 特に「100円」というのが絶妙で、この本を読んだあとに子どもと買い物に行くと、いろいろな発見をしてくれることでしょう。



『からすのややおやさん』
かこさとし 作・絵
(偕成社)

『からすのパンやさん』に出てきた子どものカラスが大きくなってそれぞれの店を開きます！ ややおやさんでは、どうしたら野菜が売れるかな？とみんなで知恵をひっつけて、いろいろな作戦を実行しているので、大人も楽しんで読めます。

Masahiko
白杵 允彦
Usuki

ハマグリで、逆転ホームラン

ある日、事件は起こりました。あれだけ「使っちゃダメだよ」と念押ししていたにもかかわらず、長男K(小4)がSuicaに入っていた交通費用の2000円で、ポケモンカードを大量に買ってしまっただけです。叱られるとわかっていたでしょう。私が帰宅するや否や、「ごめんささい」とうつむく息子。「コンビニでポケカを買う友達を見て「僕も欲しい!」という衝動に駆られる気持ちはわかります。しかし、お金は大切なもの。使ったいいお金とそうでないものがある。それをいま、ちゃんと伝えなければならぬ。そう思い、心を鬼にしました。

「Suicaのお金って、何のために使うんだっけ?」

「電車に乗るとき」

「ポケカ、買っていいんだっけ?」

「だめ」

「でも、買ったやつだね。どうする?」

「……」

「Suicaのお金って、誰のお金?」

「パパのお金」

「そうだよ。Kが電車に乗るときに必要なお金だから、返してほしいんだけど……」

「うん。返す」

「どうやって?」

「……」

「ポケカって売れるの知ってる?」

「え?」

それから沈黙の数が過ぎ、息子が一言。「ポケカ、売る」そう言って、その日Suicaで買った50枚を持ってきたのです。しかし、お金を稼ぐというのは、そんなに甘くありません。「これで2000円にならなかつたらどうする?」そう聞くと、息子が持つ残りすべてのポケカを手に、「全部売る!」と目に涙を浮かべていました。一度、心を鬼にする決めたなら、息子のために買かねばなりません。「じゃあ、行くつか」と近くのブックオフに向かいました。閉店ギリギリに滑りこみ、早速鑑定が始まりました。ドキドキする息子を横目に、私はというと、おそろく足りないであろう残金をどうするか、次にどう導くか頭を悩ませていまし

た。ほどなくして店員さんに呼ばれると、ポケカが金額別に仕分けられていました。およそ100枚はあるであろう息子のポケカの価値はいかに!? やはり甘くはありませんでした。300円だったのです。しかし、息子を見てみると、モヤモヤが晴れたかのようなすっきりした表情で「あと1700円か」と、次は何を売ろうか頭をめぐらせていました。

翌日、ゴールデンウィークがスタートし、待ちに待った富津への家族旅行が始まりました。「残り1700円は横に置いて、ひとまず楽しもう」と息子に話をしました。大渋滞を乗り越え、なんとか陽が沈む前に浜金谷に到着。おみやげ市場「サ・フィッシュ」に寄ると、実にさまざまな海の幸が並んでいます。店頭に並んでいるハマグリを見ながら、「明日はいよいよ潮干狩りだね。いいかい?」明日狙うのは、アサリじゃない。このハマグリだよ」と伝えました。すると、息子が一言。「パパ、ハマグリって、300円もするの?」

「そうだね。高級食材だからね」「ということ……僕は何個とればいいのかね?」「ん?」「あと1700円だから……」「6個だよ」「絶対6個とる!」。息子は燃えていました。宿についてから、YouTubeを観てハマグリがどこに生息しているのか家族で研究しました。

そして、次の日。満を持して、潮干狩りスタート。満潮になるのが早く、勝負は2時間。「ハマグリは群れているから、1匹いたら教え合おう」そんな話をしました。開始早々、ハマグリを見つけた私。みんなに声をかけます。しかし、そのスポットに息子は近寄ろうとはしません。自分で見つけたかったのでしょうか。すでに大半の砂浜は海水でつかり、熊手でかきながら、文字通り手探り状態でした。そんななか、「あつたー!」と息子が1個目をゲット。その後、次々に見つかり、記念すべき6個目も無事手に入れました。その後、無心で掘り続けた彼は、網いっぱいのハマグリを持って帰還。30個以上はとったでしょう。1700円分を優に超える働きをした息子は、帰宅後、ハマグリのお吸い物に舌鼓を打っていました。Suicaの2000円がポケカに溶けた珍騒動は、ハマグリの逆転ホームランで幕を閉じました。そんな息子はというと、次の誕生日にはポケカ100枚がほしいそうです。

花まる学習会 白杵 允彦



Vol.63

～ Welcome to Edo! 江戸の情景～



『こんぴら狗』

今井 恭子 作

いぬんこ 画

(くもん出版)

「こんぴら狗」とは、何らかの理由で四国の金刀比羅宮（通称「こんぴらさん」）までお参りができない飼い主に代わって旅をする犬のこと。この物語は、

いまでは信じられないそんな江戸時代の風習をもとにつくられました。病気になるってしまった飼い主の弥生のために、犬のムツキは東海道を歩いてこんぴらさんを目指しますが……。道中での出会いと別れが生きていくと描かれ、ムツキとともに往復340里（約1340km）のはるかな旅をした気分になります。第58回日本児童文学者協会賞を受賞。



『すし食いねえ』

吉橋 通夫 著

佐藤 真紀子 絵

(講談社)

屋台すし屋の一人息子である豆吉は、有名店の娘おきょうとともに、ひよんなことからある若侍の窮状を救うことに……。活気あふれる江戸の町を背景に、市井の人々の人情、握り寿司誕生の秘話が描かれます。当時はマグロが「猫またぎ」と呼ばれていたなど、随所に豆知識も盛りだくさん。巻末の「握り寿司年表」も魅力的。



『若冲ぞうと出会った少年』

黒田 志保子 著

(国土社)

京の青物問屋の長男として生まれたものの、幼い頃から絵が好きだった忠兵衛。享保13年、徳川吉宗の希望で日本に運ばれてきた象を見たくなった忠兵衛

は……。江戸中期の絵師・伊藤若冲の若き日を描いた児童書。『象と鯨図屏風』や『樹花鳥獸図屏風』など、若冲の作品を見ながら読むとおもしろさが増します。



『江戸の子ども行事とあそび12か月』

菊地 ひと美 作・絵

(偕成社)

江戸時代の子どもたちが楽しんでいた遊びの数々が、素朴ながらも生き生きとしたイラストで紹介されている一冊。月ごとに代表的な行事とともに説明されていて読みやすい。1月の「お正月」のページには、凧揚げや駒回しなどのほかに耳慣れない遊びも描かれていて、「こんなふうに季節を感じられる遊びを現代でもやってみよう」と思えること請け合いです。



『うつくろ浮世絵!』

よぐちたかお 作

アーサー・ビナード 英文

(福音館書店)

時代や国境をこえてたくさんの人にインスピレーションを与えてきた日本の浮世絵。そんな世界に誇る浮世絵の名作が、マジックフィルムを使った「動く絵本」として新たな命を吹き込まれました。縦横に動き出す、北斎や写楽、英泉らの浮世絵たち……。英語のテキストつきなので、海外へのお土産にしてもいいかも。



3月 第10回 「本×いま ～最新おすすめ本、一挙紹介!～」

「いま」という時代に生まれている本、物語とは何なのか？ 世界・日本における子どもの本の流れや最新の児童書を紹介しながら、時の流れとともに変わっていくものと決して変わらないもの、子どもの本の未来、物語に触れる喜びについて語ります。1年にわたる講座のラストを飾る、「うれしくて楽しい」時間をご期待ください！

3/13 (木)・3/15 (土) 10:30～12:00

参加費 一家族 500 円 (税込)

申込締切 開催前日の 19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2024/>





村田 寛典
(のりほん)

花まる こうい

言霊

「もうAとは友達をやめる！」

小学4年生のときに、テレビドラマの影響で何の考えもなしに友人のAに向かって放った言葉です。

「どうしてそんなこといきなり言うの？

なんか悪いことしたなら謝るから！」

と食い下がってくるAの反応がおもしろく、

「理由なんてない！ とにかく絶交だ！」

と言って家に帰りました。

いま思えば、Aが必死になっている姿を見て、自分はAにとって大切な存在なのだと再認識していたのでしょう。その日の夜、母に食卓でそのことを話したところ、

「お前は最低な人間だ。お前に食わせるメシはない。家から出ていけ」

と家の外に出されました。

笑い話をしたつもりが、母に烈火のご

とく叱られ、家から閉め出されて訳がわからず大泣きしていると、隣の家のおじさんに話しかけられました。

「そんなに泣いてどうした？」

おじさんは剣道をやっている人で、毎晩外で素振りをしていました。父が単身赴任で不在だったこともあり、何かと私のことをかわいがってくれていました。

「ほら、何があったか言ってみる」

ブン、ブン、と素振りをする音が響きます。

「お母さんとケンカしたのか？」

首を横に振りました。

「学校で何かあったのか？」

と言われ、

「友達に絶交だ！ って言っただけ」

ボソッと呟きました。

「結構なことを言ったなあ。いやなことでもされたのか？」

「別に。冗談で言ったただだよ」

空を切っていた木刀の音が止み、おじさんがこつちを見えています。

「言霊って知っているか？ 人が発した言葉には力が宿るんだ。言葉には目に見えない力が宿る。良い言葉だったら良い力が宿るし、悪い言葉だったら悪い力が宿る。本心ではなかったとしても、言っている言葉と悪い言葉がある。君が友達に言った言葉はどっちだと思っ？」

「でも冗談だし！」

と言うとおじさんが木刀を構えました。

「おじさんが持っている刀は木でできて

る偽物だ。でもこの偽物でも簡単に人を

傷つけることができる。逆に、正しく使

えば人を守ることも使える。言葉も一

緒だよ。本心から出た言葉ではなくても

相手を傷つけることがある。冗談で言っ

たのであればその子に謝ってきなさい。

許してもらえないかもしれないけれど、

その子と友達でいたいなら気持ちをしっかりと伝えるんだ」

母とおじさんの反応から自分が悪いのだとは認識しつつも、素直に「はい」と言えずにいました。

「いつばい失敗していいんだ。言葉は一人では生まれえない。誰かがいるからこそ生まれるものだ。明日、Aくんにひどいことを言われるかもしれない。でもその言葉を生んだのは彼だけではないね。Aくんの想いを受け止めて、自分の本当の気持ちを伝えてきなさい」

そう言うとおじさんはまた素振りを始めました。

翌日、学校に行つてすぐAに謝りました。

「もう絶交なんだろう？ 話しかけてく

なよ」

と冷たいAでしたが、3日かけて何とか許してもらうことができました。Aが許してくれたことをおじさんに伝えると、

「そうか！ 今度からは何も考えないで話

すんじゃないくて、相手がどう思うのかを

考えてから話をできた方がいいな」

と笑うのでした。

花まる学習会 村田寛典

花まるの
教室長を
紹介します!

Hanamaru Family 花まるファミリー

🌐...オンライン

🍷...アルゴクラブ

🏠...スクールFC

🗺️...英語花まる

🏫...花まるエレメンタリースクール

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに!



荒井 優志

東京南 神奈川県



市沢 大我

関西 富山県



隠明寺 真由

埼玉 埼玉県



加藤 美耶乃

東京南 東京都



木村 友輔

東京東 FC 東京都



熊谷 拓郎

宮城 宮城県



高塚 優妃

東京東 埼玉県



高野 優太郎

東京南 埼玉県



中里 明理

東京南 千葉県



林 飛翔

東京西 京都府



平山 真康

神奈川北 愛知県



船水 萌

千葉 東京東 埼玉県



森田 千宏

関西 大阪府



山岸 亮太

ソトシル アルゴ 埼玉県



高濱 正伸

熊本県

..... リーダーネーム

..... 名前

..... 所属

..... 出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね!

1月の誕生花は シンビジウム

母は愛知県尾張旭市の出身。兄弟姉から12歳離れての末っ子なので、全員に愛されかわいがられて育ちました。ただ、全部お古を着させられること、祖母がお稽古事をやらせること以上3人で飽きていて、あまりやらせてもらえなかったことはやだだったそうです。私が食物アレルギーを持っていて、幼小中高の15年間はお弁当を作ってくれたのですが、「おいしかった!」と言われるのがすごく嬉しかったそうです。 | 石川裕興・Prince